平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名　高千穂交易株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2676　URL　http://www.takachiho-kk.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 戸田 秀雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　経営システム本部長　(氏名) 広木 邦昭　TEL 03-3355-1111
四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,143	△10.7	315	△11.8	315	△22.9	63	△71.6
23年3月期第2四半期	9,119	5.9	357	681.7	409	838.3	223	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　55百万円　(△63.1%)　23年3月期第2四半期　149百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.28	―
23年3月期第2四半期	22.08	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,726	13,509	76.1
23年3月期	17,321	13,571	78.3

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　13,494百万円　23年3月期　13,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	12.00	―	12.00	24.00
24年3月期	―	12.00			
24年3月期(予想)			―	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△6.6	680	△17.4	700	△23.8	390	△7.0	38.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) Takachiho Fire,Security & Services (Thailand) Ltd. 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,140,300 株	23年3月期	10,140,300 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	26,233 株	23年3月期	26,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,114,067 株	23年3月期2Q	10,114,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P.２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P.２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P.２
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… P.２
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… P.２
３．四半期連結財務諸表 …… P.３
（１）四半期連結貸借対照表 …… P.３
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P.５
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P.５
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P.６
（３）継続企業の前提に関する注記 …… P.７
（４）セグメント情報等 …… P.７
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P.７
（６）重要な後発事象 …… P.８
４．補足情報 …… P.８
販売実績 …… P.８

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災により大きく減少した生産や輸出が回復に転じるなど、徐々に持ち直してきていますが、一方では円高の進行や海外経済の減速懸念などにより不透明感が窺われる展開となっています。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据えて、「強固な収益基盤の実現と成長戦略の確実な実行」を今年度の基本方針に掲げ、独自の付加価値をより一層強化し、収益性の向上を図るほか、アジアを中心とした成長市場に積極的に進出し、グローバルビジネスの本格展開を進めております。

具体的には、システムセグメントでは、新規市場への商品監視システムの拡販を進めるほか、関連機器及びサービスの販売や、中国・東南アジア市場へのビジネス展開をより一層強化しております。他方、デバイスセグメントでは、新たな商権・商材の獲得や、ＦＡＥ（フィールド・アプリケーション・エンジニア）による技術提案を通じて、特定分野へ特長ある商品の販売に注力しております。また、当社オリジナル機構部品の販路を、アジアを中心とした海外へと拡げ、グローバルブランドとしての地位獲得にも邁進しております。

このような状況の中、当第２四半期連結累計期間の経営成績は、システムセグメントが各商品類とも好調に推移しましたが、デバイスセグメントの電子商品類が振るわず、売上高は前年同期比10.7%減の81億43百万円となりました。

損益につきましては、売上総利益率の改善等が進んだものの、減収の影響が大きく営業利益は前年同期比11.8%減の３億15百万円、経常利益は前年同期比22.9%減の３億15百万円、四半期純利益は、投資有価証券評価損を特別損失として94百万円計上したことなどから、前年同期比71.6%減の63百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（システムセグメント）

システムセグメントの売上高は、前年同期比28.8%増の29億42百万円、営業利益は70百万円となりました。

セキュリティ商品類では、大型案件の獲得などによりＧＭＳ（総合スーパーマーケット）市場への商品監視システムの導入が進んだことなどから、売上高は前年同期比23.0%増の23億25百万円となりました。

メーリング商品類では、主力のメールインサーティング・システムの大型案件を獲得したことなどから、売上高は前年同期比56.2%増の３億64百万円となりました。

その他商品類では、ＢＣＰ（事業継続計画）整備を目的としたオフィスやデータセンター分散化の動きを受け、ネットワークセキュリティ関連商品の販売が好調に推移したほか、公立図書館へのＩＣタグの導入が進んだことなどから、売上高は前年同期比57.0%増の２億52百万円となりました。

（デバイスセグメント）

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比29.0%減の41億28百万円、営業利益は前年同期比59.3%減の１億31百万円となりました。

電子商品類では、新商権を獲得し、新たな商品の販売を開始したほか、産業機器市場向けへの販売活動を強化しましたが、主要仕入先との販売代理店契約解消の影響を補うには至らず、売上高は前年同期比40.8%減の22億90百万円となりました。

産機商品類では、前年度立ち上がった遊技市場向け機構部品の販売が好調に推移しましたが、震災の影響に伴う顧客メーカーの生産延期を受けて、主力のＡＴＭ（現金自動預け払い機）向け機構部品の販売が前年実績を下回ったことなどから、売上高は前年同期比5.5%減の18億38百万円となりました。

（カストマ・サービスセグメント）

カストマ・サービスセグメントは、システム機器の納入設置案件が増加したことなどから、売上高は前年同期比5.1%増の10億72百万円、営業利益は前年同期比79.3%増の１億18百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ４億５百万円増加し、177億26百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が６億26百万円減少した一方で、現金及び預金６億32百万円、半成工事１億83百万円、のれんが68百万円増加したことなどによるものです。他方、負債は、前連結会計年度末と比べ４億67百万円増加し、42億17百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が４億42百万円増加したことなどによるものです。純資産は、135億９百万円となり、自己資本比率は76.1%となりました。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、株式を取得したTakachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.を連結の範囲に含めております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,742	7,375
受取手形及び売掛金	5,282	4,655
有価証券	500	698
商品及び製品	2,094	1,902
半成工事	－	183
その他	340	370
貸倒引当金	△10	△15
流動資産合計	14,949	15,169
固定資産		
有形固定資産	511	509
無形固定資産		
のれん	－	68
その他	133	154
無形固定資産合計	133	222
投資その他の資産		
投資有価証券	1,026	959
その他	718	883
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	1,726	1,824
固定資産合計	2,371	2,556
資産合計	17,321	17,726

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830	2,273
未払法人税等	165	135
賞与引当金	288	266
役員賞与引当金	13	15
その他	556	623
流動負債合計	2,855	3,314
固定負債		
退職給付引当金	717	747
役員退職慰労引当金	4	0
その他	171	154
固定負債合計	894	902
負債合計	3,749	4,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,193	1,193
資本剰余金	1,156	1,156
利益剰余金	11,255	11,197
自己株式	△18	△18
株主資本合計	13,587	13,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	63
為替換算調整勘定	△69	△98
その他の包括利益累計額合計	△26	△34
新株予約権	10	12
少数株主持分	－	2
純資産合計	13,571	13,509
負債純資産合計	17,321	17,726

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	9,119	8,143
売上原価	6,848	5,918
売上総利益	2,271	2,224
販売費及び一般管理費	1,913	1,909
営業利益	357	315
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	6	7
為替差益	33	－
受取保険金	2	0
その他	8	4
営業外収益合計	53	19
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	－	17
その他	0	1
営業外費用合計	1	18
経常利益	409	315
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	－
特別利益合計	4	－
特別損失		
固定資産除却損	12	－
固定資産売却損	7	－
投資有価証券評価損	5	94
事務所移転費用	1	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	－
特別損失合計	38	94
税金等調整前四半期純利益	375	221
法人税、住民税及び事業税	107	141
法人税等調整額	44	16
法人税等合計	151	157
少数株主損益調整前四半期純利益	223	63
少数株主損失（△）	－	△0
四半期純利益	223	63

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	223	63
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	20
為替換算調整勘定	△8	△29
その他の包括利益合計	△74	△8
四半期包括利益	149	55
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	149	55
少数株主に係る四半期包括利益	－	△0

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システム	デバイス	カストマ・サービス	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	2,284	5,814	1,020	9,119	－	9,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,284	5,814	1,020	9,119	－	9,119
セグメント利益又は損失(△)	△22	322	66	366	△8	357

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△8百万円には、連結調整額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（注）２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システム	デバイス	カストマ・サービス	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	2,942	4,128	1,072	8,143	－	8,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,942	4,128	1,072	8,143	－	8,143
セグメント利益	70	131	118	319	△4	315

（注）１．セグメント利益の調整額△4百万円には、連結調整額2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（注）２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
（自己株式の取得） 当社は、平成23年11月７日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議しました。 (1)自己株式の取得を行う理由　経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。 (2)取得する株式の種類　当社普通株式 (3)取得する株式の総数　350,000株 (4)株式の取得価額の総額　302百円 (5)取得日　平成23年11月８日 (6)取得方法　東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNet-3）による買付

４．補足情報

販売実績

（単位：百万円）

区　分	前四半期 （平成23年３月期 第２四半期）	当四半期 （平成24年３月期 第２四半期）
セキュリティ商品類	1,890	2,325
メーリング商品類	233	364
その他商品類	160	252
システム　計	2,284	2,942
電子商品類	3,870	2,290
産機商品類	1,944	1,838
デバイス　計	5,814	4,128
カストマ・サービス　計	1,020	1,072
計	9,119	8,143

（注）前連結会計年度において「その他商品類」に含めて表示しておりました入退室管理システムの販売実績は、第１四半期より「セキュリティ商品類」に含めて表示しております。なお、前四半期の販売実績は当四半期の商品類区分で表示しております。